

# ピーカンキッズ ～あそぼーかい～



▲とらおくん、とらこちゃん(対面)

私があそぼーかいのボランティアに参加し始めたのはヒューストンに来て2年ほどした時でした。子どもたちとの交流はとても楽しく有意義なものでした。ある日、大きな出来事が起こりました。2020年3月にヒューストンは新型コロナウイルスの流行拡大のためロックダウンし、あそぼーかいも活動停止となりました。活動停止中に「オンラインでの開催はどうか？」という話し合いをしましたが、「オンラインだとあそぼーかいの本来の良さが活かせないのでは」、「(メンバーの)子どもがオンライン授業なので参加は難しい」などの意見があり、再開は先送りされていました。

その後子どもたちも通学するようになったので、メンバー同士が集まって再度話し合いをしました。その結果、オンラインであそぼーかいを開催することにしました。約1年半ぶりの活動です。オンラインの活動で一番不安だったことは、子どもたちとのコミュニケーションが私たちからの一方的な声かけになってしまうのではないかとことでした。そこで、以前と同じように子どもたちに楽しんでもらうため、ZOOMのカメラやマイクをオンにもらって、子どもたちの様子がわかりやすいようにしました。他にも、歌詞カードの文字を大きくするなど工夫をしました。子どもたちはただ見ているだけではなく、どの演目にも一生懸命参加してくれる様子が見られました。大きな声で質問にも答えてくれました。会の終わりに自由にお話できる時間を設けていましたが、その時に「楽しかった」と笑顔で言ってくれました。

その後コロナ感染の状況も緩和され、2年弱ぶりに本来の対面での形で活動を再開しました。対面での活動に不安なく参加いただけるように事前予約サイトを設けて定員制とし、

密接しなくても楽しめるようどのように工夫するか話し合いました。久しぶりの対面開催で直接子どもたちのリアクションを感じることができました。このように段々と「普通」を取り戻してきています。

また、あそぼーかい以前からお母さん同士の交流の場ともなっていたのですが、オンラインではそれが難しい状況でした。対面での活動を再開してお母さん同士が笑顔でコミュニケーションをとっている姿を見て、対面で活動する良さを感じました。

このコロナ禍での話はほんの一例ですが、何かの課題に対して真剣に向き合い、チームで話し合い協力し、解決していくという機会は特にアメリカに来てから日常でなかなか無いので、私には貴重な経験となっていました。しかもその結果として得られる子どもたちの笑顔は、活動の原動力となり、私自身の生活も楽しく明るいものになってくれました。特にコロナ禍になったことで人と人の交流がどれほど貴重なものだったかを実感しました。活動を通して大切な出会いもあり、アメリカ生活の中で楽しい思い出も沢山できました。あそぼーかいの活動はボランティアで成り立っており、アメリカ・ヒューストンでこのような日本の遊びを伝え楽しむ活動が過去から継続されていることは日本人としても素晴らしいものだと思います。今後も益々発展し、多くの人達に楽しんでいただけることを祈っています。(林奈津美)

## 今後の開催予定

\*スタッフは随時募集中です。

## あそぼーかい

pecan.asobo@gmail.com

5月11日(水)

詳細は[ヒューストン日本商工会 Facebookページ](#)、[ヒューストンなび](#)にてご確認ください。

やむをえず中止や予定変更になる場合も同様です。

## 読み聞かせの会

houstonyomikikase@gmail.com

開催日は未定です。[HP](#)にてご確認ください。



▲オンラインでの活動風景

# High Island, Texas 世界的バードウォッチング・スポット

アメリカに住む鳥のかなりの部分は渡り鳥です。そして北米に花が咲き誇る春(4月中心)に鳥たちはあの小さな体でメキシコ湾をひとつ飛びでユカタン半島あたりから我々の住むHouston目指して飛んで来るのです。正確に言えばLouisianaからTexasにかけての広範囲なメキシコ湾岸に飛んで来るわけですがその日の風向きによって西へ流されたり東へ飛ばされたり鳥もなかなか大変です。向こうを飛び立つのは日暮れ時らしく追い風に乗って離陸します。ところが、夜中に風向きが変わることもあり途中で向かい風になると小さな鳥たちには命取りにもなりかねません。実際途中で力尽きて海に落ちて死んでしまう鳥もたくさんいることでしょう。運よく最後まで追い風に乗ってくれば明朝にHouston近辺の木が生い茂ったところへ降りてきて休息を取ります。そうすると残念ながら我々Birder(野鳥観察者)にはなかなか鳥を見る事ができません。むしろ天候が夜中から悪くなったような日が狙い目です。鳥たちは向かい風や雨にあって体力が消耗していますので海岸線にたどりつくとき最初に目に止まる林に降りてきます。4月にこういう機会に巡り合いますと1本の木に鳥が鈴なり状態で止まるような光景に出くわします。英語ではこんな状態を「Fallout」と呼びます。おそらく天から鳥が落ちてくるような感覚でしょう。これらの渡り鳥は毎年同じ場所へ帰ってきて巣を作り、子育てをします。そういう場所は人が行かないような森の奥深くだったりすることが多く容易には鳥を見る事ができません。つまりこのTexasの海岸線で春に鳥を待ち伏せするのは非常に効率の良い方法ということになり、全米はおろか遠くヨーロッパからも大勢のBirderが毎年訪れることとなります。Houstonから日帰りで行ける場所が一番有名なスポットがHigh Islandです。双眼鏡を持ってぜひ



▲集団で入浴Orchard Oriole

お出かけください。

High Island Bird Sanctuary: ダウンタウンからI-10を東に走り約30分、Winnieという町にきたらTX Hwy 124を南へ、High Island 19 Miles という看板を見ながらまっすぐに走りFM1985を超えたらすぐ大きな陸橋がありこれを渡ったところがHigh Islandです。小さな町の中に何箇所もHouston Audubon SocietyのBird Sanctuaryがあります。まず5th Streetを左折してBoy Scout Woods Bird SanctuaryでDay Passを購入してください。これで他のSanctuaryにも入れます。

Houston Audubon Societyは非営利団体でこの地区のあちこちで土地を購入しBird Sanctuaryを運営しています。(Google / Yahoo MapでHigh Island, Texasを検索すると地図が見れます。) 年間に何度か行かれる予定があればAnnual Path \$30がお得です。こちらを購入されると毎年デザインを変えて作るパッチがもらえます。自然保護に対する寄付ということでこちらを購入する人も多いです。

町の反対側にはSmith Oaks Sanctuaryがありこちらは3月から4月に行けば必ず営巣中の鳥がたくさん見えますのでぜひ寄ってください。双眼鏡があれば雛も見れるはず。望遠鏡(spottin scope)を持ったBirderも多く、親切に覗かせてくれる人も多いです。このHigh Islandを含めた多くのスポットの情報は<https://houstonaudubon.org/>で入手できます。Audubon Societyの本部はMemorial DriveとWest Beltに近いE. L. Moore Sanctuaryの中にあり夏休みには子供向けのSummer Campもやっています。

(米元錦城)



▲雛を育てるRoseate Spoonbill